

おはようございます。

今日の2学期終業式あいさつは、令和5年締め括りのお話となります。

今年1年を振り返り、水工生の皆さんは学業やものづくりに、部活動に、資格取得に、3年生は進路活動もあり、多くのことを誠実によく頑張りました。

何度も話題になっていますが、新型コロナウイルス感染症は、今年の5月に季節性インフルエンザと同じ第5類の感染症の扱いとなり、感覚的にはもう普通に身近に存在する病気で、それほど恐れるものではなくなったように思えます。しかも、感染が非常に少なくなっていることから大きな油断が生じているように思います。マスクもなく、こまめな消毒も省略し、警戒を怠った結果、現在ではインフルエンザの大流行が私たちに襲っています。コロナが出現したときに、最大限の警戒を行った結果、インフルエンザが発生しなくなったことを思い出しましょう。コロナも消滅したわけではなく、実際に感染もしていますから、感染予防の行動は守り続けていく必要があると思います。これから穏やかな気持ちでお正月を迎えるために、あらためて自分自身の行動について考えてみてください。

さて、お正月と言えば、昔から、一つ歳をとる、という言い方があります。昔は誕生日ではなく、お正月に年齢が一つ増えていました。一斉に一歳分大人になるということですね。

では大人って何？ということで、以前にも皆さんに手紙の形で示しましたが、このことを考えるにあたり、皆さんの今年の成果とは裏腹に、まだまだ意識しなければならないことがあると思います。

今年、皆さんから校則や指導について意見をもらいました。学校として生徒会の皆さんと相談して対応を検討しているところです。個々の事情や考え方があり、一律に対応できない部分があります。それぞれが抱えている気持ちを表明し、一緒に考えていくことこそが大事だと考えます。

しかし、最近のトラブルの傾向でもある、SNSなどで詐欺や脅迫まがいの行為に至ったり、姿を見せずに批判したり意見をぶつかけたりするなどの、スマートフォンの使用の問題等が後を絶たず、また、感情のコントロールができないために意思の疎通が上手くいかないことがあると感じています。他人の状況から、その人の気持ちを押し量る力が落ちていると思います。言い方を変えると、大人を含め皆が、自分のことが優先されて他人の都合など考えない、いわゆる自己中の傾向を持ってきているのではないかと思います。

さらに言うと、一部の人達の振る舞いは、すこし社会をなめているように映ります。皆さんが嫌うズルい大人、ルールを守らないくせに偉そう言う嫌な大人に、もうなり始めていると思います。特に3年生については、水工は信頼関係を大切にしてきた地元企業に対し、自信を持ってあなたたちを送り出そうとしています。社会に貢献する覚悟を固めてください。進路が決まったからと言って気が緩み、決まりを守る気がない状態があるならば、水工生として卒業させることもためらいます。1、2年生は、先輩のそういうところは見習わないで、水工生の高い誇りを受け継いでください。皆さんの意識が高くなればいつか、校則そのものがなくなるとも知れません。

繰り返します。この冬休みにはぜひ、「大人」になること、「みんなが幸せな社会」をつくる、とはどういうことか、じっくり考えてみてください。そして、新たな決意を持って、新しい年を始めて欲しいと思います。間違いなく皆さんがこれからの社会を支えていくのです。よろしく願います。

あと数日で年を越せば、3年生は残り僅かな高校生活を実感するはずですが、その3年生を含め、水工生みんなの、それぞれの幸せを支えてくれている家族に感謝し、希望に満ちた新年を迎えられるよう、有意義な冬休みにしてください。

それでは新年1月9日、3学期始業式に、また元気な顔を見せてください。

以上、2学期終業式のあいさつとします。